

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	宇都宮日建工科専門学校
設置者名	学校法人 日建学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	建築設計科	夜・通信	1840 単位時間	160 単位時間	
	建築インテリアデザイン科	夜・通信	2080 単位時間	160 単位時間	
	建築設計研究科	夜・通信	1160 単位時間	80 単位時間	
	建築士養成科	夜・ <u>通信</u>	840 単位時間	160 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学生ホール設置のファイル

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	宇都宮日建工科専門学校
設置者名	学校法人 日建学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学生ホール設置のファイル

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	R1. 10. 8 ~ R4. 10. 7	組織運営体制のチ ェック
非常勤	会社役員	R1. 10. 8 ~ R4. 10. 7	法務
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宇都宮日建工科専門学校
設置者名	学校法人 日建学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 科目担当教員によるシラバス作成。 公表の方法について、現在、校内学生ホール設置のファイルにての公表としているが 今後、広く周知することが可能であるインターネットでの公表の準備を進めている。	
授業計画書の公表方法	学生便覧、学生ホール設置のファイル
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 試験及びレポート、作品、その他に基づいて成績を評価する。 授業期間を通し各科目の欠席時間数が出席すべき時間数の 3 分の 1 を超える者は原則としてその科目を不合格とする。 評価は、優・良・可・不可の 4 等級をもって表し、可以上を合格とする。 合格した者には各科目の単位を認定する。	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各科目の期末試験の結果を合計し、その平均点で成績順位をつけ分布を把握し学生の指導に役立てる。</p> <p>半期ごと及び年間の期末試験の平均点を100点換算で順位付けし、得点分布表をみる。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	学生ホール設置のファイル
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 全科目について単位を取得すること。 在学年数が建築設計科、建築インテリアデザイン科にあつては2年以上(4年以内)であること。建築設計研究科にあつては1年以上(2年以内)であること。ただし、休学の期間は在籍年数に参入しない。 卒業までに必要な学費の全額を納入していること。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学生ホール設置のファイル

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	宇都宮日建工科専門学校
設置者名	学校法人 日建学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学生ホール設置のファイル
収支計算書又は損益計算書	学生ホール設置のファイル
財産目録	学生ホール設置のファイル
事業報告書	学生ホール設置のファイル
監事による監査報告（書）	学生ホール設置のファイル

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築設計科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2320 単位時間	1200 単位 時間	160 単位 時間	80 単位時 間	80 単位時 間	720 単位 時間
			2240 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100 人		110 人	人	3 人	11 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）科目担当教員によるシラバス作成。 公表の方法について、現在、校内閲覧可能冊子にての公表としているが 今後、広く周知することが可能であるインターネットでの公表の準備を進めている。
成績評価の基準・方法
（概要）試験及びレポート、作品、その他に基づいて成績を評価する。 授業期間を通し各科目の欠席時間数が出席すべき時間数の3分の1を超える者は原則としてその科目を不合格とする。 評価は、優・良・可・不可の4等級をもって表し、可以上を合格とする。 合格した者には各科目の単位を認定する。
卒業・進級の認定基準
概要）全科目について単位を取得すること。 在学年数が建築設計科、建築インテリアデザイン科にあつては2年以上（4年以内）であること。建築設計研究科にあつては1年以上（2年以内）であること。ただし、休学の期間は在籍年数に参入しない。 卒業までに必要な学費の全額を納入していること。
学修支援等
概要）理解度に合わせ、補講の実施。資格取得に関する情報公開。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築インテリアデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2400 単位時間	1280 単位 時間	80 単位時 間	400 単位 時間	80 単位時 間	480 単位 時間
			2320 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		49 人	人	3 人	11 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）科目担当教員によるシラバス作成。 公表の方法について、現在、校内閲覧可能冊子にての公表としているが 今後、広く周知することが可能であるインターネットでの公表の準備を進めている。
成績評価の基準・方法
（概要）試験及びレポート、作品、その他に基づいて成績を評価する。 授業期間を通し各科目の欠席時間数が出席すべき時間数の3分の1を超える者は原則としてその科目を不合格とする。 評価は、優・良・可・不可の4等級をもって表し、可以上を合格とする。 合格した者には各科目の単位を認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要）全科目について単位を取得すること。 在学年数が建築設計科、建築インテリアデザイン科にあつては2年以上（4年以内）であること。建築設計研究科にあつては1年以上（2年以内）であること。ただし、休学の期間は在籍年数に参入しない。 卒業までに必要な学費の全額を納入していること。
学修支援等
（概要）理解度に合わせ、補講の実施。資格取得に関する情報公開。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築設計研究科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1240 時間	単位時間	600 単位 時間	単位時間	単位時間	560 単位 時間
			1160 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		21 人	0 人	3 人	11 人	14 人	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
建築設計科			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28人 (100%)	11人 (39.3%)	17人 (60.7%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）(株)増渕組、東武建設(株)、日豊工業(株)、(株)GMC、ランド・フォレスト(株)、船山建設工業(株)、藤井産業(株)他			
（就職指導内容）求人票開示、履歴書・面接指導、企業説明会実施			
（主な学修成果（資格・検定等））建築二級施工管理技士(学科)、福祉住環境コーディネーター、リビングスタイリスト、建築CAD検定他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76人	5人	6.6%
（中途退学の主な理由）進路変更。		
（中退防止・中退者支援のための取組）こまめな個人面談の実施、求人票開示。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
建築インテリアデザイン科			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	12人 (63.2%)	5人 (26.3%)	2人 (10.5%)
（主な就職、業界等）(株)大賀建設、(株)タツミ、佐藤塗装工業、船山建設工業(株)			
（就職指導内容）求人票開示、履歴書・面接指導、企業説明会実施			
（主な学修成果（資格・検定等））インテリアコーディネーター、色彩検定他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41 人	1 人	2.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更。		
(中退防止・中退者支援のための取組) こまめな個人面談の実施、求人票開示。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
建築設計研究科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
33 人 (100%)	0 人 (0%)	30 人 (90.9%)	3 人 (9.1%)
(主な就職、業界等) ㈱増渕組、東武建設㈱、㈱フケタ設計、㈱むぎくら、㈱安藤設計、下野市役所他			
(就職指導内容) 求人票開示、履歴書・面接指導、企業説明会実施			
(主な学修成果(資格・検定等)) 二級建築士他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) こまめな個人面談の実施、求人票開示。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
建築設計科	150,000 円	800,000 円	150,000 円	実験実習費
建築インテリアデザイン科	150,000 円	800,000 円	150,000 円	実験実習費
建築設計研究科	150,000 円	800,000 円	150,000 円	実験実習費
建築士養成科(通信制)	20,000 円	350,000 円	80,000 円	その他は実験実習費 2年次授業料は300,000円です。
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 名称：自己点検・自己評価報告書 ホームページアドレス： https://www.utsunomiyanken.com/disclose.php		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校自ら自己評価を行うとともに、企業・業界団体が委員として参画する学校関係者評価を実施・公表し、評価結果に基づく学校運営体制の改善を図る。 主な評価項目：教育活動、学修成果、就職、財務等 評価委員の構成：委員定員3名以上。(関係企業、業界団体、卒業生から各1名以上) 結果の活用方法：8月までに評価を受け、学校運営の改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(株)増渕組	2019年4月1日～ 2021年3月31日	関係企業
(株)創建設計	2019年4月1日～ 2021年3月31日	関係企業
栃木インテリアコーディネーター協会	2019年4月1日～ 2021年3月31日	業界団体
栃木県建築士会	2019年4月1日～ 2021年3月31日	業界団体
	2019年4月1日～ 2021年3月31日	卒業生
	2019年4月1日～ 2021年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 名称：学校関係者評価 ホームページアドレス： https://www.utsunomiyanken.com/disclose.php		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.utsunomiyanikken.com/>